

広報

村のいとなみを伝えるマガジン

2025
No.676

9



しよわ



今月の表紙 2025.8.9

田舎料理 焼きシソおにぎり

8月9日（土）に松山地区のお母さん達と獨協大学生（埼玉県草加市）で田舎料理体験で様々な料理を作りました。お母さん達によるご指導の下、大学生もすぐに慣れた手つきでおにぎりを握っていました。

実際に食べてみると、シソの良い香りが鼻を抜け、味噌のしょっぱさが絶妙で、気が付くと、さっきまで食べていたおにぎりがなくなっていました。



①集合写真

②誓いのことばを述べる齋藤さん

③成人証書を受け取る束原さん

8月15日、昭和村公民館で、令和7年度昭和村成人式が行われ、新成人5名が出席しました。村長から新成人一人ひとりに成人証書が手渡されました。

新成人を代表し、齋藤愛里さん（小野川）が「私たち、夢に向かってそれぞれの目標を持ち、自分のペースで歩んでいきます。しかし、その道の途中には、迷いや不安があり、壁にぶつかり立ち止まってしまふことがあると思います。そんな時には、そっと背中を押してくれる両親や家族、地域の人を思い出し、夢を、実らせ、その支えに答え、恩返しが出来るように努力していきます。」と誓いの言葉を述べました。

式典の後は、記念事業として、わらべの会による新成人にゆかりのある曲が披露されました。

また、色彩研究家の富永陽子さんによる「カラーのお話、魅力を引き出す色の効果」と題した講話が行われました。

二十歳の
夢・抱負



つかはら すずね
＞ 束原 涼々音さん(小中津川)



いがらし ひろか
＞ 五十嵐 広華さん(大芦)



さいとう あいり
＞ 齋藤 愛里さん(小野川)



はそめ りふ
＞ 羽染 梨布さん(大芦)



いがらし はるき
＞ 五十嵐 大輝さん(両原)

保育所 運動教室



7月17日、昭和村保育所で第2回保育参観が行われました。保育所での様子をご覧いただいたり、今回は、外部講師をお招きして「バブリン先生のシャボン玉ショー」を親子で楽しみました。「身近なものでもシャボン玉が楽しめる」ことを知ったり、年長児3名がショーのお手伝いをしてくれました。

たくさんシャボン玉に子どもたちは大喜び。最後は大きなシャボン玉の中に入って写真撮影を行いました。

草加市から 小学生来村



7月30日から8月22日までの期間で、姉妹都市である埼玉県草加市の小学校3校201名が自然教室で来村しました。3校とも天候に恵まれ、キャンプファイヤーや川遊びを満喫することができました。

都会ではふれあうことのできない自然を昭和村で過ごすことによって、ひと夏のうち、決して忘れられない貴重な3日間になりました。

ちょいフィット 運動



エクササイズに
のチラシはこちら
から

7月30日、すみれ荘でスポーツクラブの講師による運動教室が開催されました。

シニアの部では椅子に座りながらのストレッチ。青壮年の部では軽めの運動とストレッチポールを使った運動を行いました。

運動教室は毎月1回すみれ荘で実施しています。だれでもできるやさしい内容になっていますので、お気軽にご参加ください。

松山地区に 大学生来村



8月8日から11日までの期間で、松山地区に埼玉県草加市の獨協大学生10名が来村しました。

この事業は福島県の地域活性化事業で、松山地区では、昨年度から継続して大学生を受入れていきます。今回は農作物の収穫体験や地区住民への聞き取り調査を実施しました。

現在、松山地区の地域資源や魅力をもとに住民マップを作成し、SNSで発信することによって、関係人口、交流人口を増やす取組をしています。

小中津川盆踊り



8月14日で、小中津川地区の氣多神社で、豊年盆踊り大会が開催されました。

昭和村盆踊り愛好会の太鼓の演奏に合わせて、参加者全員が楽しく踊っていました。

お盆期間中ということも相まって、帰省している方や村内からの参加者も非常に多く、大勢で踊りも抽選会も大いに盛り上がりました。

8月15日戦後80年 慰霊法要



令和7年は、第二次世界大戦の終結から80年という節目の年にあたります。

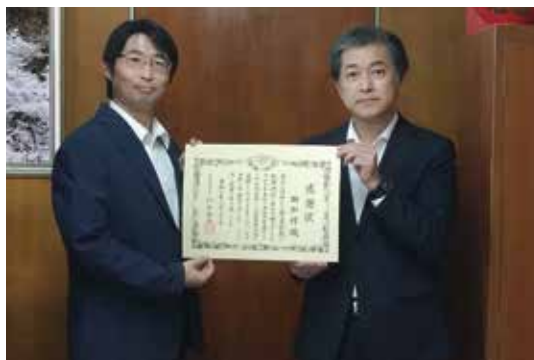
このたび、戦没者の御霊を慰め、恒久平和を祈念するため、8月15日、正法寺境内慰霊碑前において「戦後八十年慰霊法要」が執り行われました。当日は昭和村遺族会員をはじめ、地域住民など多数の参加者が静かに手を合わせ、戦争で亡くなられた方々の御霊に哀悼の意を捧げました。

中学校合唱コンクール

8月21日喜多方プラザで、昭和中と金山中の2校合同による中学校耶麻両沼地区小・中学校音楽祭第1部合唱が行われました。それぞれ、課題曲と自由曲を披露しましたが、どちらも透き通るような歌声で、会場が感動に包まれていました。結果は、優秀賞で、9月5日の県大会出場を果たしています。



2年連続県民税完納



8月21日、会津地方振興局の局長室において、個人県民税の完納を讃える知事感謝状が今野会津地方振興局長から佐竹副村長へ伝達されました。本村は、村民の皆様の高い納税意識により、2年連続での表彰となりました。引き続き皆様のご理解、ご協力のもと、完納に向けて取り組んでいきます。

すみれ荘日誌

○喰丸あつまーれ 8月4日

8月4日（月）、喰丸区長事務所で喰丸地区の高齢者を対象とした「喰丸あつまーれ」が開催され、お茶飲みをしながら、軽体操、スカットボールなどを行いました。

7月から始動した喰丸あつまーれですが、参加者も多く、集まった皆さんはとても有意義な時間を過ごしていました。

喰丸あつまーれは月一回活動しています。喰丸地区の皆様ならどなたでも参加できますので、お時間がある方はぜひ参加してみてください。



公民館日誌

○生涯学習講座「苔テラリウム教室」7月12日

公民館で生涯学習講座「苔テラリウム教室」を開催しました。講師に佐藤生花店の佐藤和弘さんをお迎えして、景色をたっぷり楽しめる大きめサイズの苔テラリウムづくりを教えてくださいました。

イメージをふくらませながら材料を吟味して選び、透明な容器に石、苔（ヤマゴケ・スナゴケ）、化粧石、小物類を工夫を凝らしてレイアウトしました。仕上げにたっぷり霧吹きし、みずみずしい苔が映えるそれぞれの世界観溢れる素敵な作品が完成しました。苔の性質やお手入れ方法なども教えていただき、毎日景色を眺め苔の生長を見守る楽しみができました。

教室で製作した作品はこちらの QR コードからご覧ください。



○少年教室「夏休み親子自然体験～発見！探検！遊び上手になろう！」 7月27日

村内大芦地区の玉川溪谷で少年教室「夏休み親子自然体験」を開催しました。

川の流れに乗って浮き輪で浮いたり、水中メガネで川の中を観察したり、魚取り網を手にな小さな魚を追ったり、思い思いに川遊びを楽しみました。また、石の下に隠れているイワナやヤマメを手掴みで捕るお父さんに子ども達から歓声が上がる場面も見られ盛り上がりました。

ひんやり冷たいきれいな清流で涼みながら、親子で緑に囲まれた自然を満喫しました。



○三町村合同「山っ子スクール」を開催しました！ 8月4日

8月4日、会津自然の家で金山町・三島町・昭和村の三町村公民館連携事業「山っ子スクール」を開催しました。

当日は本村児童7名を含む、17名が参加し、4班に分かれて班ごとに自己紹介をした後、午前中は自然の起伏を利用した全長約1kmのフィールドアスレチックを体験しました。

午後は「ドッジビー」と呼ばれる柔らかい素材のディスクを使用したドッジボール形式のゲームや館内を探検しながらビンゴオリエンテーリングを体験しました。

1日の体験活動を通して、他町村の児童との交流も深まり思い出に残る1日となりました。





昭和村電子図書館

Showa Village Digital Library



利用方法は
←こちらから

昭和村電子図書館新刊情報

令和7年8月に新たに39冊の図書を導入しました。
いつでも、どこでも、好きな時間に好きな本をぜひご利用ください。

【主な貸出作品】



作品:ウナギのいる川
著者:内山りゅう 揖善継作
出版:ポプラ社

作品:手織りを楽しむ まきもの
デザイン200増補改訂版:
四季折々のスロー、ショール、
マフラーをつくる:本編
著者:箕輪直子作
出版:誠文堂新光社



作品:やさいのはな
なんのはな?
著者:宮崎祥子
網野文絵
出版:岩崎書店

その他、導入した図書は
←こちらから



読みたい本の
リクエストは
こちらから→



【お知らせ】

7月末時点で195名の方にご登録いただき、日々多くの方が利用されています。
利用されている方からは、「ちょっとした待ち時間の際に便利。連日暑い日が続く中でどこからでも利用できる点が便利」といったお話を伺えました。

引き続き、暑い日が続いていますので、涼しい場所で電子図書館をぜひご利用ください。

ご利用にあたり、不明な点などございましたら、昭和村公民館（0241-57-2114）までお気軽にお問い合わせください。

15歳～49歳の「就活」を支援します！

就活において悩みや不安がある方の職業的自立に向けた就労相談窓口です。就職決定後もサポートが可能です。ご来所が難しい場合は、オンライン相談・各ハローワークでの出張相談も実施しております。ご利用は無料ですのでお気軽にご相談ください。

○主な支援

個別相談・職場体験・各種講座（Excel・Word講座、ビジネスマナー、履歴書作成支援、面接攻略セミナーなど）

【お問い合わせ先】 会津地域若者サポートステーション ☎ 0242-32-0011

JICA ジャイカ海外協力隊秋募集説明を開催！

30周年を迎えた二本松青年海外協力隊訓練所で、9月13日（土）に、JICA 海外協力隊の募集説明会を行いますので、お気軽にお越しください。

●開催日時：9月13日（土） 9時30分～16時（入退場自由）参加費無料。

詳細は、以下のお問い合わせ先かウェブサイトでご確認ください。

【お問い合わせ】 JICA 二本松 ☎ 0243-24-3200



福島地方法務局からのお知らせ

○令和6年4月1日から相続登記が義務化されました

不動産を相続したら、相続発生日から3年以内に登記申請を！

※令和6年4月1日以前に相続が発生している場合についても、令和9年3月31日までに相続登記を行う必要があります。

○令和8年4月1日から住所・氏名の変更登記が義務化されます。

不動産を所有している個人又は法人は、住所・氏名（名称）に変更があった日から2年以内に登記申請を！

※令和8年4月1日以前に変更が生じている場合についても、令和10年3月31日までに変更登記を行う必要があります。

相続登記及び住所等変更登記の申請を正当な理由なく怠った場合には、過料が科される可能性があります。

詳しくは、お近くの法務局にお問い合わせいただくか、法務局ホームページをご確認願います。

【お問い合わせ】

福島地方法務局 ☎ 024-534-2045

福島地方法務局若松支局 ☎ 0242-27-1501

相続登記



住所等変更
登記



ふるさと納税 ーご寄附いただいた皆様ありがとうございますー

ふるさと納税令和7年7月1日 ～ 7月31日まで

【寄附件数】4件

【寄附金額】145,000円

一般寄附 令和7年8月1日 ～ 7年8月31日まで

【寄附件数】1件

【寄附金額】100,000円

ご寄附いただいた皆様

南会津町 星 隆之 様 10万円



※寄附申込書において氏名公表可とされた方のみ掲載しております。

ご寄附は地域の活性化事業、花き振興や保健・医療・福祉の充実等村の抱える課題解決に活用させていただきます。

ご寄附いただきありがとうございました。

会津学生寮入寮生募集

会津学生寮では、東京近郊の大学に就学する男子学生を対象に、令和8年度入寮生を募集します。

◆応募資格

- ①保護者が会津出身であるか、または現在会津に居住していること。
- ②原則として4年生の大学に入学する人、または第2学年に進級する在学生。
- ③心身ともに健康で、共同生活のきまりを守って生活できること。

◆募集人数・募集期間・面接

【第一次】 3人程度・令和7年11月1日(土)～11月30日(日)まで ・12月13日(土)

【第二次】 若干名・令和8年1月15日(木)～2月14日(土)まで ・2月27日(金)

※ホームページ(aizuryo.org)に入寮案内・募集要項、生活の様子が掲載されています。

【お問い合わせ】 公益社団法人 会津学生寮 ☎ 03-3947-0325



県立宮下病院 愛ばんしょ外来から「秋バテ」に注意しましょう

9月は季節の変わり目で、朝晩の気温差が大きく自律神経が乱れやすくなります。冷たい飲み物や食べ物で弱った胃腸には温かく消化の良い食事を心がけましょう。旬のかぼちゃ、さつまいも、キノコ類はおすすめです。

湯船に浸かり、体を冷やさないようにしましょう。十分な睡眠をとることも大切です。夏に頑張り過ぎた体を労わってあげましょう。

愛ばんしょ外来では、健康に関する相談やDVDの貸し出しを行っております。お気軽にお声がけ下さい。

【お問い合わせ】 宮下病院 ☎ 0241-52-2321

12月開講の職業訓練のご案内

○募集コース

- ・テクニカルオペレーション科【機械CAD・生産サポートコース】12名
- ・電気設備技術科【電気設備技術コース】15名

○訓練期間 令和7年11月28日(金)～令和8年5月29日(金)まで(6ヵ月間)

○対象者 公共職業安定所に求職登録されている方で、職業訓練の受講が望ましいと判断された方

○受講料 無料

○募集期間 令和7年9月11日(木)～11月12日(水)まで

○選考日 令和7年11月14日(金)

【お問い合わせ】 ポリテクセンター会津 訓練科 ☎ 0242-26-0520

〔連載〕昭和村の歴史と文化

（第32回）

菅家 博昭（大岐）

野尻川 昭和村野尻

小林弥吉さん

2025年3月31日、午前9時。野尻川の右岸、中向地区の並びの野尻の小林弥吉さん（昭和23年生）に話を聞いた。大きな村落の野尻中心部は左岸にある。

弥吉さんは、小さいころ、野尻のツネイチ君（常一さん、昭和21年生）の後ろ、「オセンドブチ」で水遊びをしたという。7月、水遊びしてよいとなれば学校から家に帰ってカバン（ランドセル）を置いて、オセンドブチに向かった。みんな集まって水浴びした。上流にはシシイワと呼ぶ場所もあった。オセンドブチで体が冷えると大きな岩や石の上に乗って体を温めた（註）。

サカナ取る人は、一年中川を見て観察している。枯れ木が川端にあるとか、サカナが付く場所を見て

いる。小学4年ころから5本刃のヤスでアユを突いた。野尻川の下流に途中沢（近世文献では板尾沢）が合わさる近くに、ナガトロつていう場所があった。「ガンカラ」をやった。4歳年上の人と秋口の9月から11月上旬までやってサカナ、ハヤをとった。丸い缶の上に、麻布をかぶせる。その中心に入口を作る。設置は上流側の角に枕石というものを置いて、エサの出方の水流調整をした。エサは米糠（こめか）を練って固めたもので、中心の口から徐々に流出するように設定していた。夜に雨が降り増水するようなときはガンカラを引き上げてくる。そうしないと仕掛けが流される。小学4年から6年ころまで夢中でやった。途中沢には大きな沢ガニもいた。

「エイシヨウ」をやる人はサカナとりが上手な人だ。中向だとトミイチさん、野尻のヤマツの源三郎さん、野尻徳林寺の玄牛和尚も上手だった。寺のシモの堰で玄牛和尚はやってた。雪を入れて冬にとる場合は秋から良い場所を探しておく。投げ網をやる人もいた。下流の玉梨では築場があった。許可制だから、野尻でもヤマツのコウバの下、中向の関根の上で築場を設置して落ち鮎をとった。夜のサカナとりは禁止されていた。松山の白沢に手づかみでイワナとりに行ったこともある。石の下にキシに潜んでいる。素手でつかみ取ることを「ネジリ」と言った。

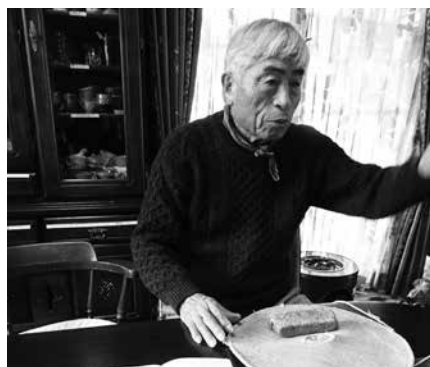
自分の父の数弥（明治42年生）は野尻郵便局の宿直終わってから、アユの投網作りをしていた。昔、村中の畑で作っていたアサから繊維を取り、糸にしていた。その糸を編む。そして強化・腐蝕防止のため柿渋に浸ける。原料のメマガキはどこにでも植えてあった。柿渋は和紙にも塗って防水加工した。下中津川新田の平喜さんは柿渋とりかたもよく知っていた。カジカツキは、解禁日があった。箱メガネ（ガラス箱とも）で水中を見てヤスで突いた。腰に付けたハケゴにとったカジ力は入る。逃げないよう、ハケゴには手ぬぐいでふたをした。

ドジョウツキは青木良一さんがよくやっていた。梅雨のころ、田の上堀でのドジョウトリは、仕掛けを6、7個設置した。1個に50ヒキも入った。エサは入れない。ただカイコの繭の中のサナギを入れた人もいる。

川の小さなザッコ（雑魚）は、年寄りがとったものだ。浅いところにいるサカナ。マスを突いた話は、小林蔵田爺（元村長）がよく言っていた。のぼってくるマスを寺の下橋の上で待っていて長い柄のヤスで突いてとった。

ここは良いところだ。昔は遊んでばかりいたな。人間らしく生きるには昭和村は最高の場所だ

（註）須田雅子『奥会津昭和村 百年の昔語り 青木梅之助さんの聞き書きより』（会津若松・歴史春秋社、2021年）は、野尻の暮らしが詳述されている。23ページから「おせんどう淵」について100歳の梅之助さん（大正10年生）の思い出が語られる。常一さんも25ページに紹介されている。



アレクサンドラ 先生の小噺 #21

Alexandra Short Story

Sahagún
(サアグン)



外国語指導助手 アレクサンドラ先生

(原文)

Dear Showa Village Residents, I usually write about Canada here, but since I was born in Colombia, there's a special part of my life that began there—and I'd love to share a bit of it with you. My mom was born in a small village in Colombia called Sahagún. It's a charming and peaceful place where life moves slowly, neighbors know each other by name, and there's a deep sense of community. One of the main livelihoods there is farming—especially raising animals—so it's quite common to see cows, chickens, and horses wandering around the town.

I still remember how the roosters would wake me up each morning, and how cows could be seen calmly grazing just about everywhere. People often cook outdoors in their backyards, gathering around fire pits to make hearty traditional soups, or grilling fresh vegetables and meats straight from the farm. The weather in Sahagún is warm all year round, with a refreshing breeze that comes during the cooler "winter" months. I used to spend my summer and Christmas holidays there, and every visit felt like a return to something pure and joyful. Sahagún is about a four-hour drive from the city where I was born. As a little girl, I found the road trip fascinating—watching the landscape transform from the busy city into vast open plains, dotted with cows, horses, and endless green fields. It felt like crossing into another world. Showa reminds me sometime of Sahagún and brings back that peaceful feeling of being at home! Until next time!

アレクサンドラ先生が記事の内容を英語で話しています。下記の QR コードからご覧ください。



(日本語訳)

昭和村の皆さん、私は普段はカナダについて書いていますが、コロンビアで生まれたので、そこで始まった私の人生の特別な部分があります。その一部について皆さんとシェアしたいと思います。私の母はコロンビアのサアグンという小さな村で生まれました。そこは、のんびりとしたペースで生活が流れ、隣人同士が名前呼び合い、深いコミュニティの絆が感じられる魅力的で平和な場所です。その地域での主な生計手段のひとつは農業——特に家畜の飼育——なので、牛や鶏、馬が町中を歩き回っているのをよく見かけます。

私は今でも、毎朝鶏が私を起こしてくれたことを覚えています。そして、牛が至る所で静かに草を食べる姿が見られたことも。人々はよく庭で野外料理を楽しみ、焚き火の周りに集まって伝統的な濃厚なスープを作ったり、農場から直送された新鮮な野菜や肉を焼いたりします。

サアグンの気候は一年を通して温暖で、涼しい「冬」の月には爽やかな風が吹きます。私はかつてそこで夏休みとクリスマス休暇を過ごしましたが、訪れるたびに純粋で楽しい場所に戻ったような気持ちになりました。サアグンは私が生まれた街から車で約4時間です。幼い頃、私は車での旅行に魅力を感じていました。賑やかな街の景色が、牛や馬が点在しどこまでも続く緑の田園地帯が広がる広大な平原に変化するのを眺め心を奪われました。まるで別の世界へ踏み込むような感覚でした。

昭和村は、サアグンを思い出させ、まるで故郷にいるような穏やかな気持ちにさせてくれます。

それではまた次回まで！



#23 災害時の公共インフラ Wi-Fi

村では、令和4年度から生活圏の屋外でのインターネット通信を無料で利用できる「公共インフラ Wi-Fi」の整備を進めてきました。その普及にあたって、Wi-Fiについて基礎から活用も含めて隔月での連載を行っています。

【お問い合わせ】総務課 企画創生係 0241-42-7717

9月といえば、防災月間です。防災月間の由来は、1923年（大正12年）9月の関東大震災を教訓として、9月1日を防災の日、9月全体を防災月間としているそうです。

近年、全国各地で発生する大きな災害では、通信網が被害を受け、数日間に渡り通信が途絶するという例もあります。

昭和村では、大雪を除けば近年大きな災害は発生していません。昭和村でよくある災害の類としては「停電」があげられます。

公共インフラ Wi-Fi には、すべての拠点で無停電電源装置を搭載しているので、停電の状況下でも一定時間の稼働が可能となっています。

今年度は、さらに機器を追加搭載し、商用電源の死活監視（停電の検知）も行えるようになりました。

「00000JAPAN」の取り組み

災害時には、携帯電話が繋がりにくかったり、繋がらなくなったりします。こういった状況を輻輳（ふくそう）と呼び、東日本大震災の際に、経験された方もいるかと思います。

以降、各通信会社で対策は行っているものの、現在も災害時には、通信が輻輳することがあり、その代替として、被災地では Wi-Fi が活用されています。（通信会社も携帯電話網の通信量を減らすため、Wi-Fi を提供しています）

この取り組みは、「00000JAPAN（ファイブゼ

ロジャパン）」という統一の SSID（電波の名前）で行われおり、「大規模災害や深刻な災害等の緊急時に、被災地域住民向けに無料開放される公衆無線 LAN サービス」となります。

公共インフラ Wi-Fi も、00000JAPAN の取り組みに参加していますので、災害時には、00000JAPAN を発動しますので、利用登録やパスワードを必要とせず、Wi-Fi の利用が可能となります。（その要件上、通信の暗号化を実施していませんので、利用の際に入力する内容には、ご注意ください。）

なお、今年度予定している防災訓練の際には、00000JAPAN の訓練発動を予定していますので、ぜひ使ってみてください。

公共インフラ Wi-Fi を利用するには

公共インフラ Wi-Fi は、村民の方が接続するネットワークと、来村者が利用するネットワークを分離しています。これまでもご案内をしているところですが、村民の方が無制限でご利用をいただくためには、登録が必要となりますので、改めてご案内いたします。登録は随時受け付けており、接続方法などのお手伝いもいたします！

登録の申請はこちらから ▶
（窓口でも受け付けています）



■デジタル全般に関するお問い合わせ
総務課 企画創生係
☎ 0241-42-7717

村では、これまでスマホ教室などを定期的で開催してきましたが、住民のみなさんの「デジタル関連の困った」にきめ細かにかつ即時対応できるよう「デジタルなんでも相談室」を開設しています。可能な範囲で対応させていただきます。こんなこと聞くの恥ずかしいなんて思わず、お困りの際は、ぜひご一報ください。



皆さんは 「いざ」という時の 備え



9月1日は関東大震災が発生したことから、防災の日と制定されており、今回は防災に関連した特集をご紹介します。

はじめに



私は、福島県中通りに位置する三春町から昭和村へきました。2011年3月11日、私は小学校6年生で卒業式が控えていたため、学校が午前中で終わり、自宅に母親と2人でいました。そんなときに、東北地方太平洋沖地震（通称・東日本大震災）が発生しました。私の住んでいた地域では、震度5強の揺れを観測しました。とても強い揺れで、家の中にはいられません。ご近所さんもお外へ避難していました。が、瓦屋根の家屋については、瓦が道路に落ちていたりところもありました。しばらく余震が続き、小さな揺れでも怯え、何回も外へ逃げたことを今でも覚えています。余震が落ち着きはじめてから、食料品や消耗品を買いにコンビニやスーパーへ足を運ぶと、商品棚にはほ

ほとんど何もない状態で啞然としていました。

隣町の郡山市では電気や水道といったインフラの供給が止まってしまい、復旧に時間がかかっていました。幸いにも私の住んでいる地域では、インフラの供給が止まることはありませんでした。

当時は防災セットを備えておらず、もし、生活の基盤となる電気や水道の供給が止まっていたらと考えると身の毛もよだつ思いです。

このような経験があることから、「いざ」という時のために、備えが必要だと感じ防災グッズを揃えつつ、本特集を作成し、皆さんに発信しようと思いました。



「いざ」という時の備え

私が、災害が発生した時に備えたものを皆さんにご紹介します。



この写真のとおり、緊急時に使える防災セット30点がリュックの中に入っています。このリュックを家の決まった場所に置いておき、災害時にすぐ取り出せるようにしています。

また、この他にも非常食も用意しています。賞味期限が5年と長く、賞味期限が近づいてきたら消費して、新しく買い足していく予定です。また、私は、よくキャンプをす

ることもあり、災害時に役立つものとして、LEDランタンやガスコンロ等を常備しています。災害が夜に発生し、停電になった場合、避難する際は足元が暗く危険なため、光源となるLEDランタンを常備しておけば安心して避難できますし、周囲に自分が安全だと知らせることに繋がります。また、LEDランタンは周囲を照らすだけでなく、ものによっては、スマホの充電も可能です。



ハザードマップの活用

現在、各ご家庭に「ハザードマップ」が配布されておりますが、皆さんは目を通したことがありますか。

ハザードマップは、災害時に避難場所や経路の確認、土石流、急傾斜、地すべりの区域となっている箇所を把握するため

の大切な地図です。災害が起きてからハザードマップを確認していたら、避難に間に合わなくなってしまう可能性がありま。今のうちから、再度確認しましょう。



村ホームページ

防災アプリの活用



昭和防災アプリは、既にお持ちのスマホやタブレットにダウンロードしている方がいるかと思いますが、こちらも併せてご紹介します。

屋外にある拡声器や宅内にあるFM告知機でお知らせしている防災無線の内容をアプリに文字として記録され、聞き逃し

た際にも内容を再確認することができアプリです。通常の防災無線と合わせて、警報が発令されたときにも自動で送信されます。今後、新しい機能も追加される予定です。まだ、ダウンロードが済でない方は、この機会にダウンロードしてみてください。

※当アプリの「リンク集」

一覧からもハザードマップにアクセスできますのでご確認ください。



iOS



Android

昭和村防災アプリのダウンロードはこちらから

おわりに

近年、地震や大雨といった自然災害が多く見受けられます。



もし、会津盆地西縁断層帯が震源地となった場合、本村でも最大震度5強、と予想されています。(福島県防災ウェブ「福島県地震・津波被害想定調査結果について」より)

もちろん、災害は地震

だけではなく、台風や線状降水帯発生による大雨の影響で土砂災害や洪水氾濫なども想定されます。そういった災害時に、防災グッズを備えていないと、生活維持の困難、生命の危険に陥る場合もあります。防災グッズをすべて揃えなくても、非常食や飲料水だけでも備蓄することで最低限、生命維持活動を守ることが出来ます。

東日本大震災当時、地震続きの毎日だったため、

私は、良くも悪くも地震に対して「慣れ」てしまっていました。そのため、震度3程度の地震でも「どうせ大丈夫だ」と自分に言い聞かせてしまっており、災害に対する危機意識が徐々に薄れているのだと、本特集を作成時に感じました。

「備えあれば憂いなし」という言葉があります。日常生活や仕事をしていく上でもよく使う言葉ではありますが、私にとっては災害のための言葉だと思っています。この特集を作成していなかったら、防災に対する意識がなかったかもしれない。災害はいつどのような形で起きるかわかりません。皆さんもこの機会に防災グッズを揃えてみてはいかがでしょうか。(田中)

警察署からのお知らせ

子どもの車内放置は「虐待」です

炎天下の車内に子供を放置する行為は児童虐待です。
子供は、身体の体温調節機能が未熟なこともあり、短時間でも重度の熱中症を発症し、命を失う可能性があります。
炎天下の車内の温度は、日中の気温上昇とともに急上昇し、少し窓を開けている程度では防ぐことはできません。
「眠っているから」、「すぐに戻るから」という安易な気持ちで子供を乗せた車内から離れないようにしましょう。
また、車内に放置された子供を発見した場合には、すぐに110番通報してください。

昨年からSNS（X、Facebook、Instagram、TikTokなど）を使用した詐欺が発生しています。

① SNS型ロマンス詐欺

SNS等で出会った者と、実際に会うことなくやり取りをして恋愛感情を抱かせ、「結婚資金」や「金銭の援助」といった名目でお金を振り込ませる詐欺です。

② SNS型投資詐欺

「必ず儲かる」等の広告や有名人の名前を使い興味を引き、SNS等のやり取りを重ね信頼させてから「投資金」「手数料」といった名目でお金を振り込ませる詐欺です。

昭和村内街頭犯罪等発生状況
(令和7年7月末現在)

区 分	管内	昭和村
強 盗		
空 き 巣		
忍 び 込 み		
事務所荒らし		
出店荒らし		
自 動 車 盗		
オートバイ盗		
自 転 車 盗		
自販機ねらい		
車 上 ね ら い		
ひったくり		
部 品 ね ら い		
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	0	0
その他刑法犯等	59	4
全 刑 法 犯	59	4

※その他刑法犯等には、暴行、傷害、万引き、詐欺、器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。

※上記発生件数は、令和7年1月1日からの累計数になっています。



消防署からのお知らせ

9月9日は救急の日

9（きゅう）9（きゅう）＝「救急」という語呂合わせでできた日で、この日を含む1週間を「救急医療週間」（今年は9月7日～13日）として、全国各地において救急に関する様々な行事が実施されています。

◎救急車の適正利用をお願いします！

緊急性のない救急車の利用は、緊急性があり本当に救急車を必要している人に対して救急車の到着が遅れ、救える命が救えなくなる心配があります。

緊急性が本当に救急車が必要な時は、ためらわずに救急車を呼んでください。

◎119番通報では何を話したらいいの？

なんて話をよく耳にします。家族が急に倒れた！家が火事になった！そんな時119にどう電話したらいいか・・・お教えします！

救急車を呼ぶ際に消防署に電話する方がおられます。消防署に電話するより119番に

①どこへ向かえば良いか（住所）	・特に住所が分かれば私たちは出動できます。住所が
②誰が必要としているか	分からなければ、近くの目標となる建物でも大丈夫です。
③どんな様子か	・後はこちらから質問するので安心して下さい！
④電話番号	

電話する方が対応が早くなりますので、救急車が必要な時は「119」に電話して指令センターに救急車を依頼してください。

火事・救急・救助は **119**

会津坂下消防署昭和出張所
☎ 57-2119 <http://www.119-aizu.jp/>



十 9 月の休日当番医 十

- 9月7日(日) 昭和村国保診療所
☎ 0241-57-2255 (昭和村)
- 14日(日) 高田厚生病院
☎ 0242-54-2211 (会津美里町)
- 15日(月・祝) 寿松堂渡辺医院
☎ 0242-83-3125 (会津坂下町)
- 21日(日) 吉川医院
☎ 0242-56-3358 (会津美里町)
- 23日(火・祝) 県立宮下病院
☎ 0241-52-2321 (三島町)
- 28日(日) 平野医院
☎ 0242-83-2243 (会津坂下町)

◆◆◆ 戸籍の窓口 ◆◆◆

令和7年7月1日～7月31日受付

● お誕生おめでとうございます

今月の届け出はありません

● ご結婚おめでとうございます

〔郷田 優介さん(中向)
大竹 里加子さん(会津若松市)〕

● おくやみ申し上げます

舟 木 ミエ子 さん 94歳 下中津川
菊 地 宗 榮 さん 94歳 中 向

※戸籍の窓口への掲載を希望されない方は届出の際にお申し出下さい。

◆◆◆ 昭和村の人口 ◆◆◆

令和7年8月1日現在※住民基本台帳人口

人 口	1,059人	(－5)	出 生	0人
男	518人	(－3)	死 亡	2人
女	541人	(－2)	転 入	1人
世 帯 数	605戸	(－2)	転 出	4人

◆◆◆ すみれ荘だより ◆◆◆

9月3日(水)

13:00～ 5歳児健診

9月24日(水) ちょいフィット

14:00～ シニア向け運動教室(やさしいストレッチ)

18:30～ 青壮年(18歳～70歳前後)向け運動教室
(ストレッチ&脂肪燃焼運動)

*つみきクラブ 毎週水曜日 9:00～11:30
(会場の都合によりお部屋の変更または休止
になる場合がありますのでご了承ください)

健康ミニ情報

<認知症予防について>

9月は「認知症月間」です。認知症について理解と関心を深める取組が実施される期間です。

認知症を完全に予防すること、認知症を完治することは残念ながらできません。しかし、生活習慣を改善することで発症の危険性を軽減することが期待できます。

ポイントは、生活習慣病を予防する食生活、適度な運動、社会活動への参加です。食事や運動で生活習慣病を予防し、趣味活動を楽しむ、家族や友人と会話するなど、人や地域と関わりのある生活をするのが認知症の予防につながる大切な取組になります。

～認知症予防の10カ条～

- ①塩分と脂肪(動物性)、糖質を控え、バランスの良い食事をする
- ②適度に運動を行い足腰を丈夫にする
- ③節酒・禁煙をし規則正しい生活をする
- ④高血圧や肥満等の生活習慣病の予防・早期発見・早期治療をする
- ⑤転倒・骨折、頭の打撲に注意する
- ⑥興味と好奇心をもつようにする
- ⑦考えをまとめて表現する習慣をつける
- ⑧周囲への気配りを忘れずに交流(活動)をする
- ⑨若々しく、おしゃれ心を忘れない
- ⑩くよくよしない、明るい気持ちで過ごす

kikakusousei@vill.showa.fukushima.jp